



## 晴天の中、「第21回大里峠越え交流会」開催されました 飯豊山系砂防事務所

10月18日(土)、第21回大里峠越え交流会が開催されました。

交流会は新潟・山形を結ぶ旧越後米沢街道を歩き往時を偲び、周辺の豊かな自然環境や歴史とふれあい交流を深める目的で、一般参加及び実行委員をあわせ約80名の参加で晴天の中、行われました。〔大里峠は旧越後米沢街道十三峠のひとつで新潟県関川村と山形県小国町を跨がる標高487mの峠〕

交流会は朝9:30に新潟県側(わかぶな高原スキー場先)にて平田関川村長の開会あいさつで始まり、5才の子供から最年長の平田村長の全員で大里峠頂上を目指し歩き出しました。頂上へ向かう途中では「山あり谷あり」で参加者も汗をかきかき頂上に到着しました。頂上では平田村長と山口副町長が握手、木札と折り鶴を奉納しました。その後、旧玉川小中学校にて大里鍋で昼食、閉会式を行い交流会は無事終了しました。

平田関川村長の開会あいさつ



峠頂上での記念撮影



頂上への道のりは「山あり谷あり」



平田関川村長と  
山口小国副町長の握手



大里峠越え交流会とは

毎年10月に開催され、旧街道を歩き往時を偲び、周辺の豊かな自然環境や歴史とふれあいながら、地域を守る国土交通省(飯豊山系砂防事務所・羽越河川国道事務所・新潟国道事務所)や森林管理署等の地域に関連する各種事業の重要性を知ってもらうとともに、関川村と小国町の交流を深めようとするものです。

鈴木事務所長の閉会あいさつ

